

新入荷商品のご紹介



木版 更紗 名古屋帯
赤城紬に木版で更紗の模様をあしらった珠玉の逸品です。
お持ちの大島紬などにもピッタリです。

352000円



印伝『サラマス』
長財布
38500円
東ローマ帝国の時代に発達したダマスク柄を独自にアレンジし植物の葉や蔓をモチーフに、更紗と漆付けでデザインされた和にも洋にも合うデザインです。



かわちやお誂え草履

39700円

光沢感ある白色の台に宝づくしの刺繍が施された、入卒などおめでたいイベントの多いこの時期にピッタリの逸品です。



和想庵 バッグ

82500円

組織りの奥行きのある素材感とすっきりとしたスタイリッシュなフォルムで上質でモダンなデザインに仕上げられています。

趣味の着物、草履・下駄、着物のお手入れ、着付けなどお気軽にご相談ください。

きもの新聞 2024年2.3月号

ごあいさつ



令和6年が始まりました。この季節は卒業や入学などいろいろと家族環境が変化する時期です。わが家も娘が高校生になるので、いろいろと新しい変化が生まれそうです。自分自身も50才になったので、気持ちだけは若く保ちたいと思っています。

3・4月の連休 毎週火曜日・水曜日定休

特集 江戸小紋の魅力



江戸小紋とは、江戸時代から伝わる「型染」という技法を用いた染め物で、遠目だと一見無地にも見えるほど細かい文様を染める技法です。江戸時代には武士の袴に使われその名の通り、江戸で発展し、現在まできものとして伝わっています。江戸小紋の技法は染板に生地を張り、染める際に伊勢型紙という彫刻刀で彫った精緻な柄を繰り返し繰り返し一ミリもずれないように柄をつないでいくのが江戸小紋の難しさです。この柄が細かければ細かいほど、柄がつぶれてしまうことがあるので、熟練の技といえます。また、江戸小紋は遠目には無地に見えることから、細かな柄で遊び心ある模様を作り出しているものもあり、意外と奥の深い通のきものといえます。また江戸小紋は紋を付けると色無地と同じ格で使うことができるので、小紋と名が付きながらも、お茶などのお稽古事や入卒にも使うことができるので、使い勝手がいいのも江戸小紋の良さのひとつです。

SNSで情報発信中!

かわちやの新作商品や産地のものづくりの話、竹次郎カフェの開催日などSNSでも発信しています。

フェイスブック



kawachiya888

インスタグラム



kachuan888



呉服の河内屋

〒444-0521

愛知県西尾市吉良町上横須賀八王子62

<https://www.gofuku-kawachiya.co.jp>

メール info@gofuku-kawachiya.co.jp

tel 0563-35-0039 fax 0563-35-3539